

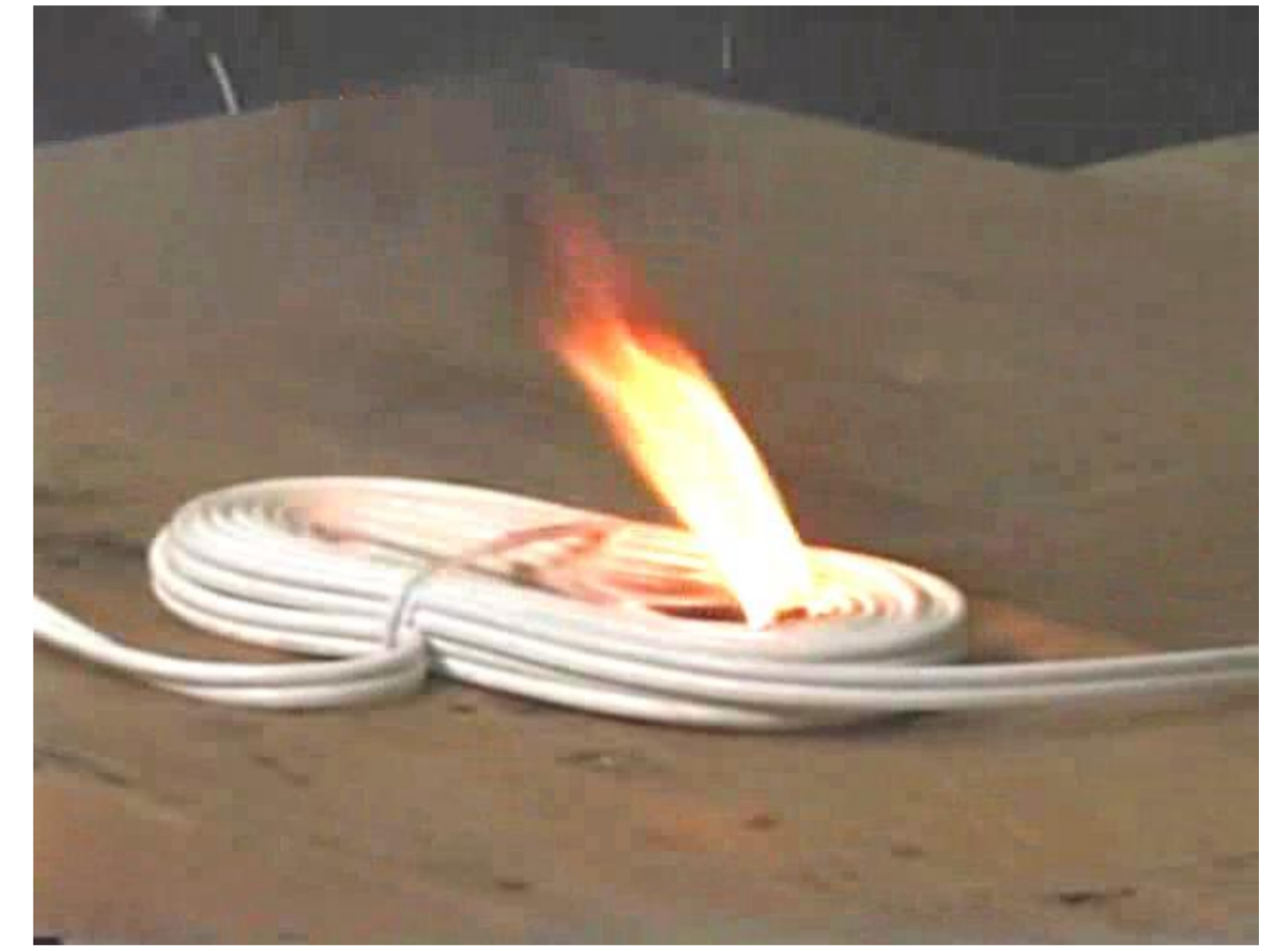
電源コードで火災事故

事故の概要

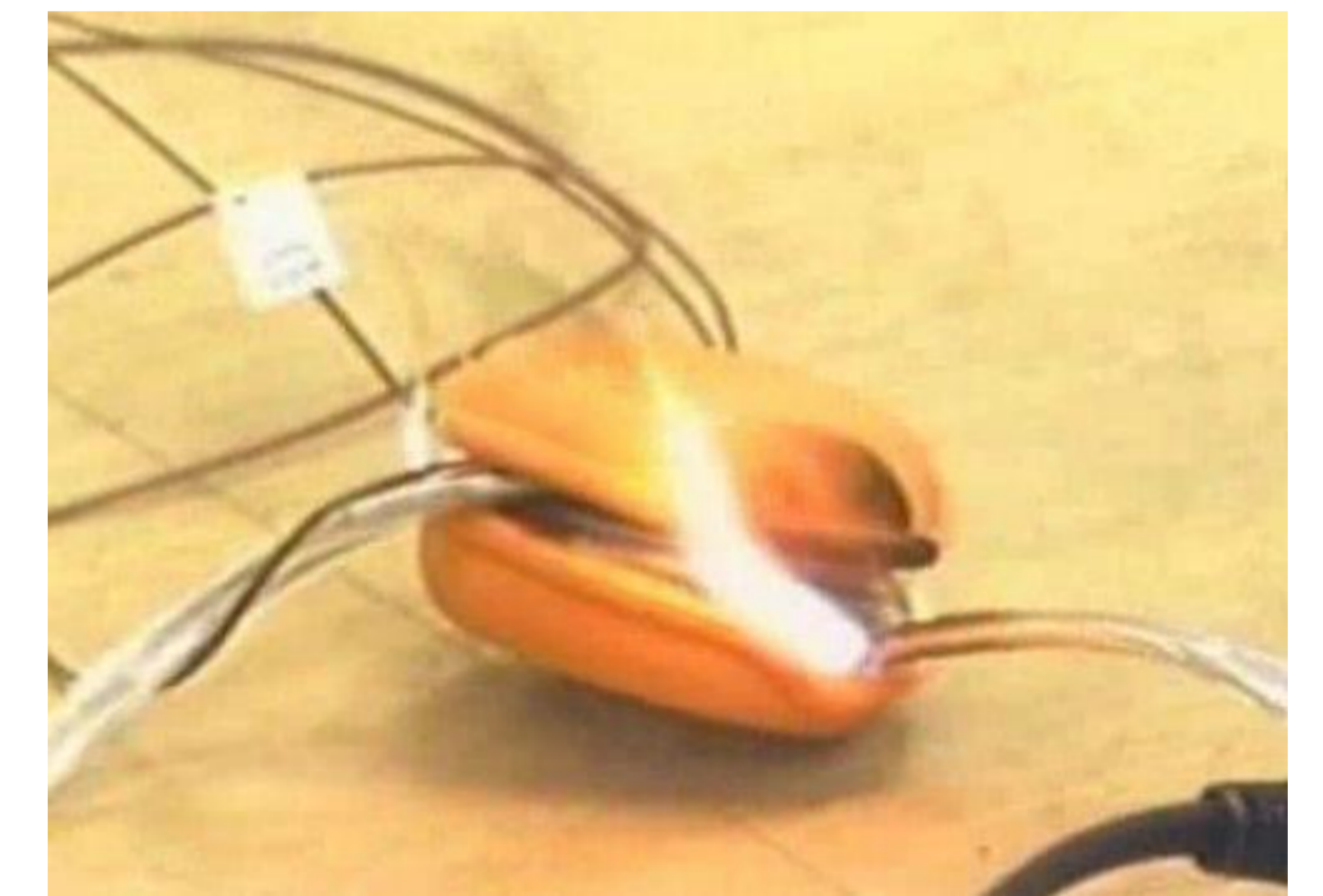
木造平屋建て住宅から出火、住宅の一部を焼き、左手にやけどを負った。

事故の原因

定格電流10Aの延長コードでテレビ、電子レンジ、電気ポットなど10Aを超えるたこ足配線で使用していました。また、コードを束ねた状態を使っていたため、束ねた部分が発熱・発火して周辺に燃え広がったものです。



再現実験（上がコードを束ねた状態、下はコード巻き取り器）



【NITEの再現実験】定格電流が7Aの延長コードを束ねた状態にして、1300W(13A)のホットプレートを使用しました。約25分後に束ねたコードの部分が180度に達し、発火しました。

【消費電力のめやす】

・ドライヤー 1200W ・アイロン 1000W ・電子レンジ 1200W ・ジャーポット 1000W
・ホットプレート 1300W ・電磁調理器 1200W ・炊飯器 800W など



事故防止のために

- ◆コードに記載されている定格電流を超えるたこ足配線をしないでください。
- ◆コードを束ねたまま使用すると放熱が妨げられて、コードの温度が高くなります。
- ◆コードリールは、コードの一部を引き出した時と、すべてを引き出した時の定格電流が異なります。取扱説明書通りの消費電流を守って使ってください。
- ◆コードの上にものを乗せないでください。傷がついたり、熱がこもったりします。
- ◆コンセントの抜き差しでは、コードを無理に引っ張らないでください。芯線がきれたり、取り付け部分がショートしたりします。
- ◆テーブルタップは差し込み口の数だけ電源プラグを差し込んで使用できるものではありません。製品の消費電力を把握した上で使ってください。